

# asobi基地キャンプ（津南）持ち物

	チェック	備考
着替え		「服が汚れるでしょ！」と叱らずに済むように、汚れてもいいものを中心に、着替えを多めに用意してください。日中は晴天であれば20℃ほどの見込みです。長袖・長ズボンをベースに、上着を脱ぎ着して調整できるといいでしょう。トイレに行きにくくなる子もいるので、不安がある場合は、下着は多めに。パジャマは荷物が増えるだけですし、汚れると気になるので、スウェットやジャージ等での代替がおすすめです。
防寒着		晴れていても、風が吹くと体感温度がグッと下がりますので、防風性能の高いウインドブレーカー等があると重宝します（レインウェアでも代替可）。また、夕方～夜～早朝は、15℃前後になる可能性がありますので、冬に着用するジャンパーなど防寒着を持参してください。
レインウェア		晴れ予報でも必ず持参をお願いします。アウトドアでは、手がふさがってしまうと思うように動けませんので、傘のみはNGです。防水透湿素材の上下があると、子どもたちは、悪天候をモノともせず、ヘッチャラで遊び回ります。参考： <a href="#">雨のキャンプが劇的に楽しくなる！レインウェア（雨合羽）の選び方 完全解説</a>
バスタオル /お風呂用品 ほか		3分100円のコインシャワーがあります（シャンプー、コンディショナー、ボディソープあり）。
食器セット		①カトラリー（箸、スプーン、フォーク） ②コップ ③カレーを盛れるような深皿 ④スープが飲めるお椀 以上の4点セットが基本となります。アウトドアではなるべくゴミを減らしたいため、リユース食器（プラスチック、ホーロー、メラミンなど割れにくい素材のもの）を推奨しますが、焚き火で焼却できる素材で、しっかり焼却処分していただけるなら、使い捨て食器もOKです。
ネックライト		夜間のテント内や手元用の明かりです。片手がふさがると不便なケースが多いため、懐中電灯やスマホのLEDライトでなく、ネックライトをおすすめします。例： <a href="https://amzn.to/30Egzav">https://amzn.to/30Egzav</a>
保険証や常備薬など		asobi基地・関東アウトドア部では、擦り傷、切り傷、火傷用の湿潤治療の処置材のみ用意しています。それ以外は、通常の家旅行同様に、各自で準備をお願いします。
消毒薬／ハンドソープ		炊事をする際には、マスク着用のうえ、手指の消毒（または手洗い）をお願いします。運営側でも消毒薬／ハンドソープを用意していますが、肌に合わないなどトラブルが考えられる場合は、各自で使用可能なものの用意をお願いいたします。
不織布のマスク		マスク着用シーンでは、大人は原則として不織布製のマスク着用をお願いします。
モバイルバッテリー		キャンプサイトに電源はありませんので、スマートフォン等の充電にはモバイルバッテリーが必要です。なお現地フィールドでは、docomo回線は通じますが、au・SoftBank回線は微弱です。

テント		※レンタル可
寝袋		※レンタル可 寝袋の対応温度は、5℃はあると安心です。新規購入する場合は、 <a href="#">iClimbのシンサレート寝袋</a> が、圧倒的に軽量・コンパクトでおすすめです。
マット		※レンタル可 テントでは、固い地面に直に寝ることになりますので、体が痛くならないよう、あるいは底冷えを防ぐため、マットが必要です。詳細はこちら <a href="#">キャンプ用マットの5つの選択肢&amp;選び方</a>
枕		必須ではありませんが、特にお子さんは、枕が変わると、うまく寝付けないケースがあります。車参加の場合、自宅で使っている枕を持ち込むと、安眠できる可能性を高くできます。  また、キャンプ用具レンタルに、枕は含まれないケースがほとんどです。Amazon等で、キャンプ用の携帯枕を購入するのもおすすめです。
就寝時の防寒アイテム		夜間や明け方には、15℃以下にまで冷え込む可能性があります。重ね着やジャンパー着用で寒さ対策はできますが、不安な方は、以下記事を参考にさせていただき、毛布（車の方）や、サバイバルブランケット（エマーゼーションシーシート）等を用意してください。特に後者は、安価な上に、かさばらないので、キャンプ以外の緊急時にも備え、購入しておいてもよいでしょう。 参考： <a href="#">寒くて眠れない！？春・初夏・秋キャンプの防寒対策 徹底解説</a>
アウトドア用テーブルやチェア		asobi基地・関東 アウトドア部の備品を持ち込みますが、潤沢とまではいきません。車参加の方で、アウトドア用のテーブル&チェアをお持ちの方は、ぜひ持ってきてください。